

「学力・学習状況」改善プラン

現状と課題

学 力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度も、読書活動の推進を継続し、読解力・表現力の向上を図った。その結果として読書が好きと答える児童がほぼ100%になっている。今後は読書の質を高めていくことが課題となる。 ・ 作文読本への投稿数も増加し100%を達成した学年もあった。「書くこと」への意欲が高まっているので今後も、継続して取り組む。 ・ 昨年度の校内基礎学力テストの結果から国語科においては、「読むこと」の領域で、問われていることを正しく理解し、文章の中から必要な情報を読み取る力等、読解力に課題が見られた。また、「話すこと・聞くこと」の領域では、話自体を正確に聞き取れていなかったり、要点をとらえられていなかったりする等、聞く力に課題が見られた。今後とも、学校生活のあらゆる場面で、相手をきちんと見て話を聞く態度を身につけさせていくとともに、聞く力や読解力の育成を図る必要がある。 ・ 算数科においては、「活用」で理由などを記述することや生活への応用に課題がある。文意を正しく理解しイメージを思い浮かべて立式したり、図形をイメージ化して操作したりするなど、学習活動の中で自力解決の場を設定し、考えをイメージさせる(絵・図に表す)力をつける指導が必要である。
学 習 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童アンケートや児童の実態から、学習準備や家庭学習の実施方法に課題が見られる。今後も、基本的な生活習慣の定着を図り、家庭学習や規則正しい生活のリズムの習慣を身に付けさせることが必要である。 ・ 宿題などの与えられた課題についてはできるが、自主的に勉強をするには至っていない。

目 標

(1) 学力について

重点目標 : 基礎学力の確実な定着と読解力・表現力の向上を図る。		
具体的目標	数値目標	具体的方策
基礎的・基本的内容の理解・定着を図る。	理解度・定着度を下学年90%、上学年80%を目指す。	定期的ミニテストを実施 ドリルを使った漢字・計算の反復練習 校内学力テストの実施 国語ランド・算数ランドの実施
「書く」活動への意欲づけを図り、表現力を高める。	作文読本への投稿を下学年90%上学年80%を目指す。	作文読本への投稿 視写によるスキルの習得 相手を意識した作文・手紙
筋道を立てて考えたり、表現したりする活動を多く取り入れ「活用」する力を高める。	校内の評価テストで80点を目標とし、低学年で80%以上中・高学年で70%以上の達成を目指す。	実験結果や観察結果のグラフ化など他教科と関連した指導 作業的・体験的な算数活動

(2) 学習状況について

重点目標 : 進んで読書をする子どもを育てる。 家庭学習の習慣化を中心に、基本的な生活習慣の定着を図る		
具体的目標	数値目標	具体的方策
読書に親しみ、進んで読書をする子どもを育てる。	年間の読書冊数を低学年100冊、中学年80冊、高学年30冊と定め各学年で80%以上の達成を目指す。	読書カードの取り組み 読み聞かせ 図書だより 図書館の活用 おすすめ本の紹介 家庭読書の励行
家庭学習の習慣を身に付けさせる。	学習時間を低学年20分・中学年30分・高学年45分と定め、低・中学年で90%以上高学年で80%以上の達成を目指す。	家庭学習の手引きの活用 整理・整頓の習慣化 宿題の工夫 カードなどによるチェック 保護者との連携